

第2次胎内市観光振興ビジョン（平成31年度～40年度）の策定に関する
意見公募の結果について

平成31年3月31日
胎内市商工観光課

1 意見公募の期間

平成31年2月14日～3月13日

2 意見総数

20件

3 意見の概要及び市の考え方

以下の表のとおり。

NO.	ページ	内容	市の考え方
1	2	P2、7点目の記載は”この第2次観光振興ビジョンに基づき”の記載の後に“行政・住民（市民）・事業者の枠を越えて”を挿入することが、本ビジョンの趣旨としてふさわしいのではないか	いただいた意見を採用し、文面を改めます。
2	3	2行目「胎内を訪れる人が増えたり」は一般論としての定性的な効果の説明なので「地域を訪れる人が増えたり」とすべきでは	市民に訴えるメッセージであるため、原案のとおりとします。
3	3	14行目「胎内を訪れる人と胎内で生活する人が」は一般論としての定性的な効果の説明「地域を訪れる人と地域で生活する人が」とすべきでは	市民に訴えるメッセージであるため、原案のとおりとします。
4	4	樽ヶ橋エリア活性化計画は有効としても検討委員会は不要だと思います。市としてもタイムリーに開催してきたとは思えませんし、多くの委員も必ずしも積極的に参画してきたとは思えません。人選にも大きな問題があるようにも思います。	樽ヶ橋エリアについては、樽ヶ橋遊園を始めとして、大規模な施設改修が進んでおり、予算投入も相当額なされていることから、同エリアにおける活性化策を検討し進捗を管理する樽ヶ橋エリア活性化検討委員会は当面の間は必要であると考えております。

5	4	<p>樽ヶ橋エリア活性化検討委員会の存続は不要と考える。</p> <p>第2次胎内市観光振興ビジョンは胎内市全体を統括する趣旨において特定エリアに限定した会議体の存在は清流を妨げるボトルネックになりかねない。将来的にビジョンに統合としているのだから、今それを待つ必要が無い</p>	<p>樽ヶ橋エリアについては、樽ヶ橋遊園を始めとして、大規模な施設改修が進んでおり、予算投入も相当額なされていることから、同エリアにおける活性化策を検討し進捗を管理する樽ヶ橋エリア活性化検討委員会は当面の間は必要であると考えております。</p>
6	5	<p>量的目標について、現状値および目標値の根拠を記述したほうが良い。</p>	<p>いただいた意見を採用し、現状値及び目標の設定根拠を記載します。</p>
7	6	<p>【*1】は削除しては。不断に実施すべきものを、敢えて「着実に実施」と踏み込む必要はない。逆説的に言えば、そういったアイテムもプロジェクトに組み入れ、見える化した方が良いと思う</p>	<p>「着実に実施すべき事項」は※1に例示した以外にも存在しており、それらをプロジェクトに盛り込むことで、文量が増し、次期ビジョンで重要視すべきプロジェクトが相対的に薄まることも懸念されます。</p> <p>今ビジョンは、策定段階から、「市民へのわかりやすさ」を大切にしており、真に重視するプロジェクトを吟味して盛り込むこととした経緯もありますので、原案のとおりとさせていただきます。</p>
8	8~20	<p>各プロジェクト共通。</p> <p>各主体の役割について、市民にイメージが伝わり辛い。具体の事業者名の例示が必要では</p>	<p>わかりやすさの観点からは、いただいたご意見のとおり、具体の事業者名が盛り込まれている方が望ましいと考えますが、一方で、本計画の計画期間は10年と長期であり、策定時点において個別の団体名を例示することは将来的に実情と乖離するおそれがあります。加えて、本ビジョンは市の観光振興施策の基本的方針をとりまとめた行政計画であり、他の団体に対してはあくまでも任意の協力に留まります。</p> <p>以上の理由から原案どおりの記載とさせていただきます。</p>

9	14	「10年後に目指す姿」の記述について「電車で胎内を訪れた人が」は「電車等で胎内を訪れた人が」とすべきでは。(対象を限定すると対応も限定される懸念)	いただいた意見を採用し、「10年後の目指す姿」の記載を改めます。
10	14	「実施すべき取り組みと役割」の記述について ①の説明文中「中条駅」を拠点としてを「中条駅等を拠点として」と改めては。(対象を限定すると対応も限定される懸念)	いただいた意見を採用し、①の説明文を改めます。
11	14	「中条駅を拠点として・・・」は当然としても、レンタルサイクルなどについては平木田駅も位置づけられないでしょうか。乙方面などへのアクセスはすぐれているのでは	当該記述を「中条駅等を拠点として・・・」に改めます。
12	16	当該ページの取組について期待しています。関連して、31ページの詳細についてぜひ公開していただきたいと思います	入込客数をはじめ、当ビジョンの量的目標、質的目標などのデータについては、定期的に発信して参ります。
13	17	①の説明文中「外部人材の導入」を「観光ディレクター」に改めては。(P19「観光推進体制の強化」まで属性を伏せる必要が無いのでは)	いただいた意見を採用し、当該記載を以下のとおり改めます。 「(略) 市民とともに観光まちづくりに取り組む外部人材『観光ディレクター』※の導入を推進する。」
14	19	【観光ディレクター】に対する指揮命令系を明確化する。 (体制強化のキモ故、単なる評論家では困るので所定のミッションかつ結果責任まで負ってもらいたい。行政がある程度のグリップ&コントロールはすべき。)	ビジョンの具体的行動計画を示した「第2次胎内市観光振興ビジョンアクションプラン」のなかで、観光ディレクターの取組事項及び数値目標等が定められており、このアクションプランのなかで、観光ディレクターに対して一定程度の制御・統制を図って参ります。

15	19	<p>【観光協会】について：本ビジョンに記載する必要はないが、観光ディレクター受入れ以前に協会自体の強化が必要。具体的にはディレクターと行動を共にできる専任者の手当が必要と考える。</p>	<p>いただいた意見を尊重し、ビジョンの展開を図って参りたいと考えております。</p>
16	19	<p>「観光ディレクターの配置」は今計画の目玉の1つだと思います。これまでも一流の旅行コンサル会社とかベテランのホテル経営者とかに期待感がありましたが、地元の市や市民が頑張ることが第一であることが確認されてきたと思います。行政主導型の胎内市の観光振興は「市民協働」とともに市の役割発揮が第一であることをあいまいにしてはならない。その意味で各所に「バックアップ」との表現がありますがディレクターへの期待が過大に感じられます。本来の「ディレクター」に対する用語としては「バックアップ」なのでしょうが、そんな人材がはたして見つかるのでしょうか。民間の「スキル」をもっているとしても本当の意味の「ディレクター」ではありえないようにおもうのですが・・・本来のディレクターは市(市長)だと思いますので、たとえば「指導・調整」などとすべきではないでしょうか。</p>	<p>今ビジョンでは、観光施設及び観光に携わる方々のほか、市内で商売を営んでおられる方々、観光ボランティアを始めとした市民の皆さまなど、多様な関係者が主役となり、胎内市を訪れる旅人に、胎内市の魅力を濃密な地域体験として伝えていくことで、旅人は何度でも胎内市を訪れてくれる「ムラビト」に、胎内市はどこにでもある田舎から何度も訪れたくなるふる里へと観光地としての価値を増していくと考えています。</p> <p>こうした考えのもと、観光ディレクターは、観光客のニーズ等のマーケティングを行い、胎内市の様々な地域資源や、多様な関係者をコーディネートし、体験プログラム等を企画・立案する役割を担っていただきます。</p> <p>行政の役割としては、地域資源、ヒト、モノ、カネ等の紹介、関係機関等とのすり合わせ、進捗確認・改善案の考案などディレクターの活動に伴走することが重要であると考えています。そうした意味合いからも、原案どおり「バックアップ」と表記とさせていただきます。</p>
17	19	<p>「観光ディレクター」の配置は、いつ頃の設定でしょうか。</p>	<p>平成31年度中を予定しております。</p>
18	19	<p>「観光ディレクター」募集に関しての具体的な日程、応募規定、募集要項等は、どのような内容でいつ頃に発表する予定でしょうか。</p>	<p>公募の有無を含めて現在検討中です。公募する場合は市ホームページ上に掲載いたします。</p>
19	26	<p>26P 魅力向上委員会の設置と活動について「○」評価は疑問、▲ではないでしょうか。</p>	<p>魅力向上委員会によって各施設間の情報共有・連携は一定程度なされたと考えており、原案どおり○とさせていただきます。</p>

20	-	素晴らしい内容のビジョンだと思います。5W1Hの考えを取り入れつつ、実行力の担保を図って欲しい。	ビジョンの実現に向け、取り組んで参ります。
----	---	--	-----------------------